

## 研究に関する公開情報

公立陶生病院では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけましたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

[研究課題名] 当院に入院した結核性髄膜炎の15例の臨床的検討 2012-2022

[当院研究責任者] 部署名 感染症内科 氏名 武藤 義和

[研究の目的] 本邦では比較的稀な疾患である結核性髄膜炎の疫学的、臨床的現状を評価することを目的としています。

### ■ 研究の対象となる方

2012年4月から2022年3月に公立陶生病院に受診もしくは入院した患者さんの中で結核の診断を受け、結核性髄膜炎も発症されている方（18歳以上）が対象です。

### ■ ご協力頂く内容

上記期間に診療上得られた検査データと、診療録に記録された診療情報(年齢、性別、身体所見、症状、採血検査、画像検査、生理検査結果、治療経過など)を研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究代表者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

### ■ 研究の背景・目的

結核性髄膜炎は発生頻度こそ結核全体の0.3%前後と言われており、本邦において毎年報告される結核患者数が15000例程度と考えると、概算で年間20例前後の報告のみの非常に稀な疾患であります。しかし医療資源の整っている国における致死率は14~28%、後遺症率も20~30%とされており意識障害や薬剤へのアレルギーなどから治療が難渋する例も多いです。加えて、無菌性髄膜炎として治療されている中で培養陽性になる事により診断を得ることがあるなど、診断が難しい疾患でもあるため、その症例の特徴や臨床経過などへの理解はすべからず重要であります。本邦の知見は極めて少ない現状です。そのため、当院において経験した結核性髄膜炎の臨床的特徴とその経過予後について後方視的に検討いたします。

### ■ 個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■ お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101

研究代表者 感染症内科 武藤 義和